翌日へ
メニューへ戻る

R1 SG 台湾 FW

11/13（水）

研修 8 日目。今日は花蓮県政府教育所を表敬訪問からスタートです。今のところ体調を崩す生徒もおらず順調に研修がすすんでいます。今年度から盛岡市と花蓮市が友好都市の締結を行うということで、昨年から花蓮市の慈済大学附属高級中学の交流を始めた本校も、両市の友好関係を発展させるために高校生の立場から何か役に立ちたいと考え、盛岡市役所の方にお願いし、今回の訪問が実現しました。

花蓮県政府教育所は野球のスタジアムの一部に事務所があり、まさに球場の一部という感じでした。最初に教育所副所長の翁さんから花蓮県の高校について説明がありました。次に本校から学校紹介、応援歌、「上を向いてあるこう」の合唱を披露しました。昨日に続き二度目の発表だけあって、堂々としたものでした。その場にいた向こうの職員の方にも大変喜んでいただきました。次に３D プリンターでの作成過程を見学、さすがＩＴが盛んな国だけあって、一般の市民にも開放しているとのこと。花蓮市もＩＴ技術者の育成には力をいれているということでした。次に缶バッチの作成です。一人ひとり好きな柄を選び、作ったものは記念品としていただきました。その間、教育をテーマにしている、馬場さん、原科さん、岡崎さんは積極的に教育所の方に花蓮の教育について質問し、研究テーマを深めていました。さすがです！

最後にお土産交換と、記念の集合写真を撮り、交流を終えました。副所長さんからは問題意識が高く優秀な学生さんたちですとお褒めの言葉をいただき、教育所をあとにしました。今後、花蓮市内の複数の学校と交流が広がっていく可能性を感じました。11 月 23 日には、盛岡市の代表団が花蓮市を訪問し、友好都市の締結を行うということです。

昼食は海鮮料理の円卓料理、大変豪華な料理なのですが、もう体が多くを受け付けてくれません。青菜のおひたし、もやしの炒め物など野菜があっさりしていてとてもおいしかったです。逆に炭水化物は体重増加が怖くいて食べられなくなってきました。最初の円卓料理のときは、残さず全部食べようという気合がありましたが、もう今その気力もありまっせん。食品ロスしてごめんなさい。

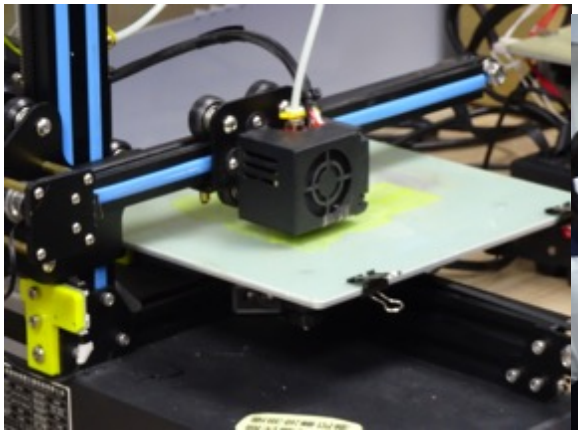
午後は列車の時間まで、花蓮最大の観光地「太魯閣渓谷」の見学です。ガイドの黄さんのおかげで、上手く時間を作っていただき、太魯閣渓谷の見学が実現しました。この渓谷は大理石の山が河川に侵食され深いＶ字谷を形成した、壮年期の地形です。大理石は石灰岩が変成してできた岩石です。石灰岩はもともと貝殻などの生物由来の岩石ですから、昔海底だったところが長い時間をかけて大理石に変化し、それが現在のフィリピン海プレートに押され、隆起していることで深い谷をつくっているのです。あんなにほぼ垂直に谷を削るのは河川の侵食スピードよりも土地の隆起のほうが早いからなのではないでしょうか。そんなことを考えながわくわくして見学しました。インスタ映えスポット満載で、生徒もワクワクして見学しました。花蓮戻る途中、わずかな時間を工夫して海辺の観光スポットで途中下車。またまた大はしゃぎの生徒たち！花蓮駅には出発の 15 分前に到着、なんと無駄のない行程。さすが黄さん。黄さん本当にありがとう。

列車の中では明日の大学でのプレゼンに向けて準備をしている生徒もおり、意識の高さを感じることができうれしく思いました。そして再び最後の研修地台北に戻ってきました。

研修も後半に入りました。最後の７日間、大学でのプレゼン、講義、フィールドワーク、政治大付属高級中学との交流と、主体的に取り組まなくてはならない研修メニューが目白押しですが、体調を崩すことなくやり切ってほしいと思います。

花蓮縣高級中等學校
簡介

Rugby
world
Cup



花蓮智慧教育中心
HUALIEN SMART EDUCATION CENTER